

## 令和7年度 福井県立奥越特別支援学校 学校関係者評価書

(問)

- (1) 学校評価書の目標に対する成果や結果の分析は適切か。
- (2) その他(学校運営全般に関する御意見など)

(意見を聞いた方)

教育関係者代表、福祉関係者代表、事業所代表、昭和町区長代表、PTA役員

(意見欄)

(1) 目標に対する成果および結果の分析について

【学習支援】

・自己肯定感の育成やポジティブ教育の推進について、スクールプランの具体的取組から見えにくいので、工夫するとよい。全校集会等、子どもたちの学習発表の場に保護者の参観もできるとよいのではないか。

【地域交流】

・地域との交流が多くできており、いいことだ。一方で、広報誌などをとおして教育活動をもっと地域に広げると良いのではないか。広報誌の子どもたちの顔モザイクももう少し工夫があるとよい。

【生徒支援・危機管理】

- ・スマートフォン関連被害を保護者と一体となって防ぐ取組を考えてほしい。
- ・定期的な危機管理マニュアルの見直しをしてほしい。

(2) その他(学校運営全般について)

- ・昨今の状況から、クマ対応の訓練も今後必要ではないか。福祉事業所ではクマが侵入した想定訓練も実施している。
- ・学校評価アンケートの結果について、「目標に到達できていなかった」という少数回答に注目し、原因や対応を考えてほしい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・地域で育ち、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童生徒のために、学校の教育活動の質の向上を図っていき、地域とともに歩む学校づくりをいっそう推し進めたい。また、それらの活動を積極的にホームページや通信などで保護者や地域に発信していきたい。
- ・情報モラル教育の充実や危機管理体制の一層の充実を図っていきたい。計画的な研修や訓練を実施していくことで安全安心な環境づくりを推進したい。
- ・教職員の業務改善について、働きがいを持てる職場づくりを推進していきたい。
- ・委員会での御意見を校内でも共有して各校務部・学部で検討し、次年度のスクールプランに反映させ、具体的な取組として実現していきたい。